愛知工科大学

認証評価結果に対する改善報告書

平成３０年７月３日

１．**大学名**：愛知工科大学

２．**認証評価実施年度**：平成２８年度

３．**「改善を要する点」の内容**

基準項目：３－６

過去 5 年間大学単独の消費支出は、消費収入を大きく上回っているので、収支のバランスを取るための必須課題とされる入学者の確保について、中期目標・中期計画に基づきより効果的、具体的に取り組むよう改善を要する。

４．**改善状況及び結果**

基準項目３－６について

基準項目 2-1 についての改善報告書に記したとおり、中期目標・中期計画に基づき、学生を成長させ、企業に貢献する人材を育成することを目的として教育改革を推し進めている。社会の要請に応えることにより、ステークホルダーからの大学の評価及び認知度が上がり、志願者数増の改善が図られている。【表 3-6-1】

表 3-6-1　学科別志願者数の推移

学部	学科	入学定員	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
工学部	機械システム工学科	75	138	148	199
	電子制御・ロボット工学科	75	77	96	103
	情報メディア学科	75	140	159	226
	計	225	355	403	528

工学部における入学者数は平成 28（2016）年度 119 名、平成 29（2017）年度 174 名、平成 30（2018）年度 208 名と増加した。【表 3-6-2】

表 3-6-2　学科別入学者数の推移

学部	学科	入学定員	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
工学部	機械システム工学科	75	48	51	68
	電子制御・ロボット工学科	75	30	58	49
	情報メディア学科	75	41	65	91
	計	225	119	174	208

収容定員充足率は、平成 30（2018）5 月 1 日現在において 71.5%で、定員未充足における改善が進んでおり、大学単独の事業活動収入及び教育活動収入の改善がなされている。【資料 3-6-1】

引き続き、中期目標・中期計画に基づき教育改革を進め、教育の質を高めることで定員充足による安定持続的な経営が可能な財務構造への転換を進める。

５．エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目３－６の資料

【資料 3-6-1】事業活動収支計算書（平成 27 年度、平成 28 年度、平成 29 年度）